

## 消化器科ローテーション研修目標

症状・身体所見・簡単な検査所見に基づき消化器疾患の鑑別診断治療を的確におこない、専門的な治療が必要なかどうかを的確に判断できる能力を身につける

経験すべき疾患・病態・検査・治療法

### 1. 的確な診断を下すために非侵襲的・侵襲的な検査ができる

血液検査；肝機能検査、肝炎ウイルスマーカー、免疫学的検査、膵酵素、癌マーカー、血算・凝固  
糞便検査・尿検査・腹水検査・細菌学的検査

画像検査；単純X線写真、腹部超音波検査、腹部CT、腹部MRI（MRCP）

消化管X線造影検査；上部消化管造影、低緊張性十二指腸造影、小腸造影、注腸造影

上部内視鏡・下部内視鏡検査

非侵襲的な検査法と、基本的な治療手技を実施できる（1年次）

内視鏡検査など侵襲的な検査法の基本を実施できる（2年次）

### 2. 経験すべき疾患：鑑別診断し的確な治療ができるために

食道疾患

食道炎、食道裂孔ヘルニア、マロリー・ワイス症候群、食道静脈瘤、食道癌

胃・十二指腸疾患

胃潰瘍、十二指腸潰瘍、ヘリコバクター・ピロリ感染症、急性・慢性胃炎、胃ポリープ、胃腺腫、胃癌、胃粘膜下腫瘍

大腸肛門疾患

潰瘍性大腸炎、クローン病、虚血性大腸炎、感染性腸炎、抗生物質起因性大腸炎、大腸ポリープ、大腸癌、過敏性腸症候群、大腸憩室、痔

肝疾患

急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌、脂肪肝、薬剤性肝障害、アルコール性肝障害、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、肝嚢胞、肝血管腫、肝膿瘍、門脈圧亢進症

胆・膵疾患

胆石、胆嚢炎、胆嚢腺筋症、胆嚢癌、総胆管結石、胆肝炎、胆管癌、膵炎（急性、慢性）、膵嚢胞、膵癌、膵胆管合流異常

腹壁・腹膜

ヘルニア、急性腹膜炎、癌性腹膜炎、腹腔内膿瘍

救急疾患

急性胃腸炎、虫垂炎、イレウス、腹部大動脈瘤、急性腸間膜虚血など。

3. 治療手技：適切に診断し治療するために

独自でオーダー・実施し、結果を判断できる（必修）

1) 胃管の挿入と管理、胃洗滌、腹腔穿刺と排液、

2) 基本的な薬物治療、経管栄養、輸液、高カロリー輸液、輸血

専門：適応が理解でき、基本的な手技については指導のもとに実施できる。

1) SB チューブ挿入、レイウス管挿入

2) 上部内視鏡検査：一般観察、胃ポリペクトミー、食道粘膜切除術、胃粘膜切除術、上部消化管出血の止血術、食道静脈瘤硬化術・結紮術、食道バルーン拡張術、食道ステント

3) 下部内視鏡検査：大腸一般観察、大腸ポリペクトミー、大腸粘膜切除術、下部消化管出血の止血術

4) 胆・膵内視鏡検査：内視鏡的胆管膵管造影（ERCP）

内視鏡的乳頭バルーン拡張術（EPBD）

内視鏡的経鼻胆道ドレナージ（ENBD）

内視鏡的乳頭括約筋切開術（EST）

内視鏡下胆道ステント挿入術

5) 肝・胆：肝生検、肝腫瘍生検、インターフェロン治療、

肝動脈塞栓術（TAE・TAI）、肝癌エタノール注入療法（PEIT）、

肝癌ラジオ波焼灼治療（RFA）、経皮経肝的胆道ドレナージ

（PTBD）、経皮的胆道ステント挿入術

6) その他：血管造影（腹腔動脈、上腸間膜動脈）、RI 検査、抗癌剤治療、放射線治療、

レーザー、アルゴンプラズマ（APC）治療